

第8章 今後の課題と対応方針案

本章では、過年度業務及び本年後業務によって得られた知見を基に、再生可能エネルギーの導入ポテンシャルやゾーニング基礎情報等に関する今後の課題と対応方針案について取りまとめている。

(1) 再エネ情報提供サイトのユーザビリティの向上

利用者意見を整理・分析したうえで、再エネ情報提供サイトの機能強化を実施した。アドバイザーからは情報の拡充や操作性に関する意見を多く頂いた。再エネ情報提供サイトには利用者からの意見を収集するコンテンツを装備していることから、今後はアドバイザーの意見やユーザー意見を踏まえ改修を進めユーザビリティを向上していくことが求められる。

(2) 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル推計方法の適時見直し

H30 年度業務における推計方法の見直し（案）に基づき、再生可能エネルギー（発電）に係る導入ポテンシャルの全面的な見直しを行った。再生可能エネルギーを取巻く事業環境は刻々と変化していることから、社会条件や経済条件の変化を抑え適切なタイミングにおいて導入ポテンシャルの見直しを行い、最新情報を提供していくことが望まれる。

(3) 過年度の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル等のとりまとめ・概要資料の改訂

再エネ情報提供サイトの公開により、今まで以上に再生可能エネルギーの導入ポテンシャルに関する問い合わせが増加することが予想される。それら問合せに適切に対応する、及びユーザーの利便性を高めるため、継続的な再エネ情報提供サイトの更新・改修、及び高頻度な質問に対する Q&A を作成する等によりユーザビリティの向上とユーザーへの対応の効率化を図ることが重要である。

(4) 太陽光発電のマッピングシステムの構築

太陽光発電のマッピングシステムはいくつかの自治体で導入する事例が見受けられる。これら取組みは地域内での再生可能エネルギー創出・消費を拡大するだけでなく、地域内経済に貢献する可能性を有しており、必要に応じて適切な支援をしていくことで取組みを加速化していくことが求められる。